

国産畳表の選び方

熊本産畳表の品質の見分け方についてまとめました
 ご一読頂き、より品質の良い熊本産畳表をご指定頂ければ幸いです

熊本畳表 品質Q&A

Q1: 畳替えの時、品質と価格の関係がよく分かりません。品質が高い畳表と並品とはどんな違いがありますか？

A1: 品質の違いは時間の経過と共にあらわれてきます

出芽時期による肥後物産等級目安

- 最上級品 (140cm)
- 上級品 (130cm)
- 中級品 (120cm)
- 普及品 (115cm)
- 下級品 (110cm)

契約農家の商品にはラベルが付き、左表のどのランクに相当するかが表示されています

先刈り後、イ草は1つの芽から数本の芽が出ます。1番品質が良い草になるのは⑤番の芽で、新芽で実が充実した長いイ草に育ちます。⑤番のイ草で製織した畳表は最高級品となり、収量の割合は少なく価格は高くなります。

新芽で長い草を使ったものは、数年後も黒筋の入りは少なく、明るい黄色に変色していきます

古芽で短い草の割合が多い下級品であれば、敷き込み直後は品質の差はあまり感じられなくても、数年後は黒筋が入り、茶色に変色していきます

Q2: 耐久性のあるものを選びたいのですが、どこを見ればいいですか？

A2: 畳表のヒゲと言われるウラ先(根元ではなく草の先端)部分をご覧下さい

強い草の断面
丸みを帯びたイ草は、茎の充実が良く、表皮も厚いので擦り傷などになりにくい傾向にあります

弱い草の断面
楕円型に潰れたイ草は、茎の充実が悪く、表皮も薄いので擦り傷などの原因になる傾向にあります

Q3: きれいに退色していく畳表を選びたいのですが、新芽と古芽を見分けるポイントがありますか？

A3: 畳表のヒゲの根元の部分をご覧下さい

新芽の根
根元の色が白～黄色一色に近く、草の粒揃いも良くなります

古芽が混じった根
根元の色が赤、茶、黄、白など4～5色になります。草の太さも太かったり細かったりしたものが混じります。古芽は数年後、黒い筋に変わる事があります

品質について詳しくは [肥後物産](#) [検索](#)

ランク	上記Q1(色調)		上記Q2(耐久性)		上記Q3(粒揃い)
	退色後の色調 (黒筋の混入)	イ草の長さ	織り込み密度 (一枚当りの本数)	実の充実 (断面図拡大写真)	根元の色 (根元拡大)
最上級品(久～万)		140cm ★★★★★★★	7,000本 ★★★★★★★		
上級品(茂～登)		130cm ★★★★★★	6,000本 ★★★★★★		
中級品(比～喜)		120cm ★★★★★	5,000本 ★★★★★		
普及品(花～桜)		115cm ★★★	4,500本 ★★★		
下級品(A～C)		110cm ★★	4,000本 ★		

注) 退色後の色調は実際の製品とは異なる場合があります。